

豊かな表現力で 思いを伝え合う子をめざして



浦和区 北浦和小学校 教諭 深田 智香

1 はじめに

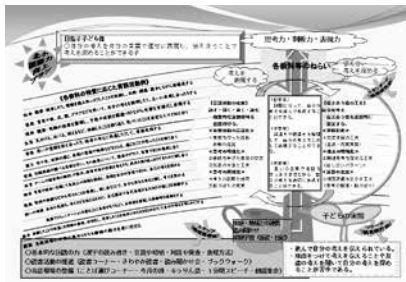
本校は、平成25・26年度の2年間にわたり、さいたま市教育委員会より「国語力向上」の研究指定校の委嘱を受け、研究主題「豊かな表現力で思いを伝え合う子をめざして」の研究と実践を積み重ねてきた。

目指す子ども像を「自分の考えを自分の言葉で適切に表現し、伝え合うことで考えを深めることができる子」とし、平成23年度より全教科領域を通して研究を推進してきた。平成25年度からの2年間においては、これまでの研究の成果を踏まえ、社会科・生活科を中心に研究に取り組んでいる。

2 具体的な取組

(1)「北小国語力向上プラン」の作成

思考力、判断力、表現力等を向上させることを中心におき、児童の実態、発達段階に応じた本校独自のプランを研究に位置付けた。2つの視点「言語活動の充実」、「伝え合う場の工夫」における効果的な手立てが明確になった。

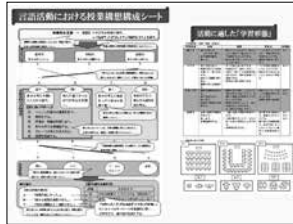


「北小国語力向上プラン」

(2) 授業実践

各教科等のねらいを達成するために、言語活動を効果的に位置付け、授業の構成や指導の在り方の工夫改善に努めた。具体的には、体験活動後の思考の言語化、理由や根拠を挙げて話したり聞いたりする伝え合い活動、振り返りによる自分の考えを見直す活動の充実を図った。また、伝え合う

目的と内容を明確にし、活動に適した学習形態を工夫できるようにした。



「授業構成シート・学習形態」



「6年 社会科授業」

(3) 国語力を支える日常の活動

各教科等の学習の基本となる国語の能力を培えるよう、言語感覚を高める言語環境の整備、積極的な読書活動の推進に取り組んだ。その結果、児童の学習に対する意欲の向上が図られ、確かな学力の手ごたえを感じた。



「ことば遊びコーナー」



「読み聞かせ会」



「朗読集会」

3 おわりに

児童は、自分の考えを自分の言葉で分かりやすく伝え、主体的に学習に取り組むことができるようになってきた。特に文章を書いたりまとめたり、説明したりすることに抵抗感をもっていない児童が多くなってきている。これまでの研究の成果を日々の授業に生かすとともに、豊かにかかわり合うことのできる力を高めるために、一層の国語力向上に努めていきたい。